

【北海道新聞（8月29日号）に掲載されました】

8月28日（火）から9月3日（月）までの7日間、本校生徒が韓国・素明女子高等学校へ短期留学を行っています。現地の方々とたくさん交流をして、多くのことを学ぶ7日間になることを期待しています。

羽幌高生韓国着 熱烈歓迎受ける

短期留学 ホームステイ先へ

【室蘭（韓国）長谷川】トファマリーから飛かい出た羽幌高の生徒8人と引率の教員6人が28日、韓国に向けて出発。短期留学先の素明市の素明女子高等学校に到着し、現地の学校関係者やホームステイ先のホストファミリーに到着した。空港では

ウエルカムボードを掲げて熱心に迎え受けた素明女子高の生徒たち。28日午後、韓国・仁川空港。

女子高の生徒や教員ら10人が出発し、手作りの愛らしいウェルカムボードを掲げて熱心に歓迎した。到着した素明市に、すぐに会話を始めた。

引率を担った羽幌高国際交流協会の藤田光代（88）は「マンナン・パンダ（88）は「マンナン・パンダ（お食いできそうです）」と韓国語であいさつした。

生徒たちは早速、ホームステイ先に向かい、それぞれの家族で最初の夜を過ごした。29日から現地の生徒と一緒に授業を受け、交流行事にも参加する。帰国は9月3日。

■同行記者ひと言
7人が初海外笑顔の旅期待
20年目を迎えた羽幌高と韓国・素明女子高の交流事業ですが、今回参加している生徒8人のうち4人は初の海外旅行とのこと。出入国審査、パスポートの提示を求められ、緊張の表情を浮かべていました。「おなかがいっぱい」と動物園でトイレに駆け込む生徒も。中には「チヨウム・ベツゲス（マンダ！）（初めまして）」。

て」。ホストファミリーと対面し、事前学習で覚えた韓国語をいさづいた2年の高野海（さん）。「笑顔」（長谷川 賢）